



本プレスリリースは、当社に関する最新情報を報道関係者、株主・投資家の皆さまへ提供することを目的としたものであり、プロモーションや広告、医学的なアドバイスを目的とするものではありません。また、当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計数数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

2026年 経営・決算 事業・製品

グローバル医薬事業ブランドを「Asahi Kasei Therapeutics」に統合

日本・米国・欧州の社名統一により、“One AK Pharma”を加速

旭化成株式会社 ニュース 2026 グローバル医薬事業ブランドを「Asahi Kasei Therapeutics」に統合

2026年9月30日

旭化成株式会社

旭化成株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:工藤 幸四郎)は、グローバルファーマ事業統括である青木 喜和のもと推進してきた医薬事業のグローバル統合の一環として、米国のVeloxis Pharmaceuticals(以下「Veloxis」)、およびスウェーデンのCalliditas Therapeutics(以下「Calliditas」)の各社名を「Asahi Kasei Therapeutics」へ変更し、日本とともに一つのグローバル医薬事業ブランドへ統合することをお知らせします。

える、革新的な治療（セラピューティクス）の創出と提供を加速します。そして引き続き、2030年度に医薬事業売上高3,000億円を目指す“One AK Pharma”戦略を推進します。

1. 背景と目的

旭化成の医薬事業は、日本で培った研究開発力、事業基盤および安定的な収益創出力に、戦略的買収を通じて獲得した製品・パイプライン、研究開発機能、ならびに米国・欧州における販売基盤を組み合わせ、グローバルスペシャリティファーマへと変革を進めています。

2020年のVeloxis買収により、腎移植領域の製品と米国における販売基盤を獲得しました。2024年のCalliditas買収では、腎疾患領域へ事業を拡大するとともに、開発機能および米国における販売基盤を強化しました。さらに、2026年にドイツのAiCuris Anti-infective Cures（以下「Aicuris」）を買収したことにより、感染症領域のパイプラインを加え、研究開発機能をさらに拡充しました。

統合後のポートフォリオは、今後の持続的な成長を支える強固な事業基盤となります。免疫抑制剤「Envarsus XR」の米国売上高は、旭化成が2020年にVeloxisを買収して以来、年平均20%台の成長率を達成しています。また、IgA腎症治療薬「Tarpeyo」についても、Calliditas買収時に想定した売上予測を上回ることが引き続き期待されています。

さらにAicurisでは、感染症治療薬「Prevymis」に係る安定的なロイヤルティ収入に加え、開発パイプラインから将来的な収益貢献が期待されることにより、さらなる成長機会を見込んでいます。

今回のブランド統合を通じて、地域を越えた意思決定、経営資源の最適配分、人財・知見の交流を一層促進します。また、各社が培ってきた専門性と文化を尊重しながら、共通のMission、Vision、Valuesのもとで患者さんを起点に一体感を高め、世界各地の知見や経験を結集することで、アンメットメディカルニーズの高い領域において、患者さんへより大きな価値を届けていきます。

2. 社名変更およびブランドロゴの概要

	(2026年4月1日変更)		 旭化成セラピューティクス グローバル  THERAPEUTICS
Veloxis Pharmaceuticals Inc.	Asahi Kasei Therapeutics Inc. (2026年9月29日変更)	米国	 THERAPEUTICS
Calliditas Therapeutics AB	Asahi Kasei Therapeutics AB (2026年10月変更見込み)	スウェーデン	

※2026年4月に買収完了したAicurisは、2027年以降に商号変更を実施予定です。

参考) Asahi Kasei Therapeuticsウェブサイト <https://www.aktx.com/>

3. 今後の事業運営

旭化成セラピューティクスは、免疫、腎疾患、移植、感染症など、アンメットメディカルニーズが高いスペシャリティ領域に注力し、患者さんとそのご家族に新たな治療の可能性を届けることを目指します。国内重点領域である骨・整形領域を含む既存製品の価値最大化や、パイプラインの着実な開発に加え、導入機会の獲得などを通じて治療の選択肢を拡充し、持続的な成長を実現していきます。

2025年度から2027年度の中期経営計画においては、Aicurisの買収に加え、将来の成長に向けて3年間で約400億円のライセンス導入費用を計画しています。日本・米国・欧州の機能を一体的に活用し、研究開発から事業開発、製造、販売までをつなぐグローバルな基盤を整備することで、革新的な治療をより早く患者さんへ届けられる体制を構築します。その実現を通じて、“One AK Pharma”を実現します。

Asahi Kasei Therapeutics (Global)

President 青木 喜和

「日本・米国・欧州の主要拠点が“Asahi Kasei Therapeutics (旭化成セラピューティクス)”という共通ブランドのもとに集うことは、グローバルスペシャリティファーマへの変革を象徴する重要な節目です。それぞれの地域で培われてきた専門性や文化を尊重しながら、共通のMission、Vision、Valuesのもとで、一つのチームとして地域や組織の枠を越えて協働し、世界中の患者さんにより大きな価値を届けていけることを楽しみにしています。」

Asahi Kasei Therapeutics (US/Europe)

CEO Stacy Wheeler (前Veloxis Pharmaceuticals CEO)

領域で新たな機会を創出していきます。」

旭化成セラピューティクス(日本/アジア)

代表取締役社長 岡島 大介

「今回のAsahi Kasei Therapeuticsへのブランド統合により、日本・アジアのチームが培ってきた研究開発、生産、そして患者さんへの価値提供の経験をグローバルな成長に生かせることを大変嬉しく思います。日本・アジア、米国・欧州が一つのチームとして連携し、互いの強みを高め合うことで、新たな治療の可能性を切り拓き、一人ひとりの患者さんの人生に貢献してまいります。」

以上

[ニュース一覧へ](#)

企業情報

事業・製品

イノベーション

IR情報

サステナビリティ

ニュース

Creating for Tomorrow

スポーツ・イベント活動



- ご利用条件
- サイトマップ
- よくあるご質問
- プライバシーポリシー
- 情報セキュリティポリシー
- クッキーポリシー
- ソーシャルメディアポリシー